

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 3 月 30 日 (2006.3.30)

【公開番号】特開 2002-177565 (P2002-177565A)
 【公開日】平成 14 年 6 月 25 日 (2002.6.25)
 【出願番号】特願 2001-341872 (P2001-341872)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 C

A 6 3 F 7/02 3 5 2 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 2 月 10 日 (2006.2.10)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技盤に設けられた可変入賞口と大入賞口と複数の普通入賞口を含む複数の入賞手段と、これら入賞手段に入賞した遊技球を夫々検知する複数の入賞検知手段と、各入賞検知手段が遊技球の入賞を検知したことを条件に入賞手段の種類別に設定された所定数の遊技球を払出し可能な払出手段とを備えた弾球遊技機であって、

少なくとも一部の入賞手段は、入賞した際に払出される遊技球の払出し個数が他の入賞手段の払出し個数と異ならせて設定された特定入賞手段であり、

各入賞検知手段で検知があった場合に前記所定数の遊技球を払出すべき遊技球としてその数を記憶する払出遊技球数記憶手段を設け、

前記払出遊技球数記憶手段に記憶情報がある場合にはその記憶情報に基づく遊技球を直ちに払出すとともに、払出遊技球数記憶手段に払出し個数が異なる記憶情報がある場合には、特定入賞手段に関わる記憶情報に基づく遊技球を優先して払出し、

前記払出手段による各回の払出しは予め設定された設定個数を上限とし、払出遊技球数記憶手段に記憶された遊技球数が設定個数に満たない場合はその個数を払出し、また払出遊技球数記憶手段に記憶された遊技球数が設定個数以上の場合は設定個数を払出した後に記憶された遊技球数から設定個数を減算する、

ことを特徴とする弾球遊技機。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 8】

【課題を解決するための手段】 請求項 1 の弾球遊技機は、遊技盤に設けられた可変入賞口と大入賞口と複数の普通入賞口を含む複数の入賞手段と、これら入賞手段に入賞した遊技球を夫々検知する複数の入賞検知手段と、各入賞検知手段が遊技球の入賞を検知したことを条件に入賞手段の種類別に設定された所定数の遊技球を払出し可能な払出手段とを備えた弾球遊技機であって、少なくとも一部の入賞手段は、入賞した際に払出される遊技球の払出し個数が他の入賞手段の払出し個数と異ならせて設定された特定入賞手段であ

り、各入賞検知手段で検知があった場合に所定数の遊技球を払出すべき遊技球としてその数を記憶する払出遊技球数記憶手段を設け、払出遊技球数記憶手段に記憶情報がある場合にはその記憶情報に基づく遊技球を直ちに払出すとともに、払出遊技球数記憶手段に払出し個数が異なる記憶情報がある場合には、特定入賞手段に関わる記憶情報に基づく遊技球を優先して払出し、払出手段による各回の払出しは予め設定された設定個数を上限とし、払出遊技球数記憶手段に記憶された遊技球数が設定個数に満たない場合はその個数を払出し、また払出遊技球数記憶手段に記憶された遊技球数が設定個数以上の場合は設定個数を払出した後に記憶された遊技球数から設定個数を減算するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

弾球遊技球の遊技盤には、可変式入賞手段、大入賞手段、普通入賞手段など複数種類の入賞手段が複数設けられ、そのうちの少なくとも一部の入賞手段は特定入賞手段である。これら入賞手段の各々に入賞した遊技球は各入賞手段に設けた入賞検知手段で検知され、入賞手段の種類別に設定された所定数の遊技球が払出すべき遊技球としてその払出し球数が払出遊技球数記憶手段に記憶される。この払出遊技球数記憶手段に、払出し個数が異なる複数の払出し球数の記憶がある場合、特定入賞手段に関わる払出し記憶情報に基づく遊技球が払出手段を介して優先して払出される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

また、前記払出手段による各回の払出しは予め設定された設定個数を上限とし、払出遊技球数記憶手段に記憶された遊技球数が設定個数に満たない場合はその個数を払出し、また払出遊技球数記憶手段に記憶された遊技球数が設定個数以上の場合は設定個数を払出し

た後に記憶された遊技球数から設定個数を減算する場合、払出遊技球数記憶手段に記憶した払出遊技球数情報に基づいて払出す遊技球数が設定個数に満たない場合は、直ちにその個数の遊技球が払出される。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0059】

【発明の効果】 請求項1の発明によれば、遊技盤に設けられた可変入賞口と大入賞口と複数の普通入賞口を含む複数の複数種類の入賞手段、複数の入賞手段への入賞を夫々検知する複数の入賞検知手段、各入賞毎に遊技球を払出し可能な払出手段、払出すべき遊技球数を記憶する払出遊技球数記憶手段などを有し、少なくとも一部の入賞手段は入賞時の払出し個数の異なる特定入賞手段であるので、複数の入賞検知手段により入賞手段への入賞を確実に検知することができ、各入賞毎に払出すべき遊技球の数を即座に確定でき、払出遊技球数記憶手段によりその確定した払出すべき遊技球数を、特定入賞手段とそれ以外の入賞手段とを区別して順々に記憶可能である。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

払出遊技球数記憶手段に記憶情報がある場合にはその記憶情報に基づく遊技球を直ちに払出すとともに、払出遊技球数記憶手段に払出し個数が異なる複数の記憶情報がある場合は、特定入賞手段に関わる記憶情報に基づく遊技球を優先して払出すので、特定入賞手段への入賞に対して優先的に遊技球を払出し可能になる。それ故、同数の遊技球の払出しを繰り返して実行できるため、払出し制御と払出しが簡単化し、遊技球の払出しを迅速化でき、払出し性能を高めることできる。特に、払出し球数の多い入賞手段を特定入賞手段として設定することも可能であり、その場合は、前記の効果が顕著になる。また、払出すべき遊技球数が記憶される毎に遊技球を直ちに払出すので、払出し時期を早めて払出しの遅延を解消することができる。入賞球を貯留する入賞球タンクを省略するなど遊技盤の裏側の入賞球排出系の構造を簡単化することができる。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0061

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0062

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 6 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 6 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 6 4 】

さらに、払出手段による各回の払出しは予め設定された設定個数を上限とし、払出遊技球数記憶手段に記憶された遊技球数が設定個数に満たない場合はその個数を払出すので、迅速にまた遅延なしに払出すことができる。また、記憶された遊技球数が設定個数以上の場合は設定個数を払出した後に記憶された遊技球数から設定個数を減算するので、払出手段による払出し制御が簡単化するうえ、設定個数を例えば 2 5 個程度の大きな数に設定すれば、払出し速度、性能を著しく高め、払出しの遅延を解消できる。

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 6 5

【補正方法】 削除

【補正の内容】